



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月14日

上場会社名 株式会社アスモ 上場取引所 東  
 コード番号 2654 URL http://www.asmo1.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)長井 尊  
 問合せ先責任者 (役職名)経営企画室 (氏名)重清 安雄 (TEL)03(6911)0550  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	13,755	0.4	661	5.4	674	5.8	485	△3.4
28年3月期第3四半期	13,703	7.4	627	△13.8	637	△14.7	502	18.6

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 520百万円(2.9%) 28年3月期第3四半期 505百万円(△12.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	3.46	—
28年3月期第3四半期	3.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	6,772	4,516	64.7	31.26
28年3月期	6,050	4,135	66.2	28.58

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 4,382百万円 28年3月期 4,007百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,881	4.0	996	23.0	1,040	27.5	769	25.5	5.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## ※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規—社(社名)、除外—社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.6「2. サマリー情報(注記事項)に関する情報(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

## (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	151,451,750株	28年3月期	151,451,750株
29年3月期3Q	11,244,049株	28年3月期	11,244,049株
29年3月期3Q	140,207,701株	28年3月期3Q	140,208,202株

## ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
(4) 追加情報	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用情勢の改善により緩やかな回復基調で推移しましたが、英国のEU離脱問題や新興国経済の減速による円高・株安傾向から、米国大統領選挙以降は円安・株高に反転するなど、世界経済の不確実性が高まっており、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、お客様の利便性等を追求することで購買機会の増加・シェアの拡大を図ってまいりました。今後におきましては、シェアの拡大によるスケールメリットを発揮することで各種コストの見直しを図り、利益の確保に努めてまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高13,755百万円（前年同四半期比 0.4%増）、営業利益661百万円（前年同四半期比 5.4%増）、経常利益674百万円（前年同四半期比 5.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、485百万円（前年同四半期比 3.4%減）となりました。

主な事業別の状況は次のとおりであります。

セグメント名称 (セグメントに該当する会社)		主要な事業の内容
アスモ事業 (株式会社アスモ)		グループ会社の統制・管理、不動産賃貸
アスモトレーディング事業 (株式会社アスモトレーディング)		食肉の輸出入、食肉及び食肉加工品の販売
アスモフードサービス事業 (株式会社アスモフードサービス) (株式会社アスモフードサービス首都圏) (株式会社アスモフードサービス東日本) (株式会社アスモフードサービス中日本) (株式会社アスモフードサービス西日本)		高齢者介護施設等における給食の提供
アスモ介護サービス事業 (株式会社アスモ介護サービス)		訪問・居宅介護事業所の運営、有料老人ホームの運営
ASMO CATERING (HK) 事業 (ASMO CATERING (HK) CO., LIMITED)		香港における外食店舗の運営
その他	(サーバントラスト信託株式会社)	信託商品の販売
	(アスモ少額短期保険株式会社)	保険商品の販売
	(ASMO CATERING(TAIWAN)COMPANY LIMITED)	台湾における外食店舗の運営

① アスモトレーディング事業

アスモトレーディング事業におきましては、物流費の上昇や販売競争の激化により、依然として、厳しい経営環境が続きました。

このような中、収益力の高いメキシコ産牛肉に注力しつつ、通販の拡大により、利益率を改善させてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、2,204百万円（前年同四半期比 1.4%減）セグメント利益（営業利益）は、61百万円（前年同四半期はセグメント損失13百万円）となり、大きく利益改善できました。

今後も、不安定な為替動向に注視しつつ、エンドユーザーを中心に安定した顧客を開拓し、利益の確保をしてまいります。

引き続き着実に利益が創出できる商売に注力して、グループ全体の成長に貢献してまいります。

② アスモフードサービス事業

アスモフードサービス事業におきましては、高齢者介護施設以外から幅広い分野において受注先を獲得し、一方で、収益向上のための不採算受託施設の契約解除を並行し実施したことにより、売上高、営業利益はともに堅調に推移いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、5,719百万円（前年同四半期比 3.6%増）、セグメント利益（営業利益）は、340百万円（前年同四半期比 15.4%増）となりました。

今後も、引き続き堅実に増収増益を維持できるよう、基盤の強化に努めてまいります。また、様々な年間行事やイベントを企画し、常にお客様に喜んでいただけるご提案をすることで、給食提供の質の向上を図ってまいります。

③ アスモ介護サービス事業

アスモ介護サービス事業におきましては、訪問介護事業所、居宅介護支援事業所および有料老人ホーム運営事業を営んでおり、当第3四半期連結累計期間につきましては、平成27年4月の介護保険法の改正による介護報酬見直しの下、介護報酬が大きく伸びせない中、恒常的な人手不足に伴う人件費の上昇など、足元・先行きとも非常に厳しい状況で推移しております。

このため、介護サービスをご利用いただける機会を増やすことを目的に事業所の開設・見直しを推進し、平成28年10月に4施設目となる有料老人ホームを開設するとともに2事業所を閉鎖いたしました。また、ご契約者様、ご入居者様は昨年開設した事業所等が同四半期は大きく貢献し、増加したものの、新規有料老人ホームは開設直後でもあり、開設費用が先行したこと等から、増収減益となりました。

これにより、当第3四半期連結会計期間末現在、訪問介護事業所36事業所（前年同四半期末は38事業所）、居宅介護支援事業所12事業所（前年同四半期末は12事業所）、ご契約者様は、1,757名（前年同四半期末は1,665名）。有料老人ホーム4施設（前年同四半期末は3施設）、ご入居者様数116名（前年同四半期末は68名）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、3,655百万円（前年同四半期比 1.5%増）、セグメント利益（営業利益）は、379百万円（前年同四半期比 9.0%減）となりました。

今後ともご利用者の獲得に努めていくとともに、介護人材育成に注力していくことで、より良い人材の確保と定着率向上に努め、介護サービスの質の向上を図ってまいります。

④ ASMO CATERING (HK) 事業

ASMO CATERING (HK) 事業におきましては、競争が厳しい中、収益改善を図るべく、10月1日に新たに日系スーパー一田 (YATA) のチュンワン店において、『虎蔵食堂』をオープンいたしました。60平方メートルほどのラーメンと和食弁当を中心とした小型のファーストフーズショップで、一田 (YATA) 店の食品売り場に併設しております。また、不採算店舗の閉店・見直しを図りましたが、人件費や賃料が高止まり、減収減益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,631百万円（前年同四半期比 10.3%減）、セグメント利益（営業利益）は、4百万円（前年同四半期比 88.4%減）となりました。

当社には、8店舗が日本資本あるいは日系香港資本スーパーの中に出店しておりますが、一般のショッピングモール内などの出店と比較して、契約期間は平均すると約2年と短いものの、大きな改装などが無い限り当社が希望すれば契約延長を獲得しやすい利点があります。また全てのお店がフードコートあるいは食品スーパーに併設する小型ショップで投資も低く、大きな利益が稼げなくとも確実性の高い事業であり今後とも各社と良好な関係を保ち新たな出店につなげてまいります。

⑤ その他の事業

a. サーバントラスト信託株式会社

その他セグメントに含めておりますサーバントラスト信託株式会社は、管理型信託事業を営んでおります。信託事業では、「特定贈与信託」「ペット飼育費保全信託」「老い支度サポート信託（遺言代用信託を含む）」「不動産管理信託」などの個人向けの信託商品のほか、「葬儀費用管理信託」「顧客分別金管理信託」「不動産証券化信託」「エスクロー信託」などの法人向けの信託商品の販売にも努めました。

営業面以外に、経費節減にも努めた結果、前年同四半期比での増益を実現しております。

引き続き、積極的な営業活動を行っていくとともに、グループ主要事業である介護事業とのシナジーを図りながら、新規信託契約の獲得ならびに売上増加に努めてまいります。

b. アスモ少額短期保険株式会社

その他セグメントに含めておりますアスモ少額短期保険株式会社は、少額短期保険事業を展開しており、生命保険商品3種類（生命定期保険、入院保障付生命定期保険、無選択型生命保険）と損害保険商品（高齢者施設入居者家財保険）を販売しています。

高齢者施設入居者家財保険「転ばぬ先の杖」は有料老人ホーム運営会社と代理店契約を締結し、入居者に販売していくスキームに加え、有料老人ホーム紹介会社との提携も進み、紹介案件へ当保険を付帯するというスキームが動き出しました。特にインターネットにより入居者を紹介している紹介会社にとっては、他社との差別化策として保険の無料付帯により顧客の獲得に寄与することができ、今後の販売件数の拡大が見込めます。

また、生命保険商品においても、商品ごと、販売チャネルごとに収支分析を行うことにより、良好な保険収支を維持することができており、収益にも寄与しています。

c. ASMO CATERING (TAIWAN) COMPANY LIMITED

その他セグメントに含めておりますASMO CATERING (TAIWAN) COMPANY LIMITEDは、収益改善を図るべく、不採算店舗の収益力向上に努めております。しかしながら、台北市内天母そごう店の台湾の一号店『日本料理今助』においては、天母地区の商圈の縮小に歯止めがかからず当店にも大きく影響しております。その他フードコート2店においても当初の目標売上には届いておらず、不採算店舗の早期撤退や要員を見直し、事務所移転により経費削減を図るなど、一旦縮小する方向で進めております。

しかしながら低迷する天母そごう店内においても『日本料理今助』には固定客が多く、台湾における今後の展開は同業種に絞り、取り組んでまいりたいと存じます。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、540百万円（前年同四半期比 3.5%増）、セグメント利益（営業利益）は、0百万円（前年同四半期比 97.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は6,772百万円となり、前連結会計年度末に比べ722百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が297百万円、受取手形及び売掛金が229百万円、商品が29百万円、無形固定資産が25百万円、投資その他の資産「その他」が135百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は2,256百万円となり、前連結会計年度末に比べ341百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が153百万円、未払金が129百万円、退職給付に係る負債が18百万円、固定負債「その他」が31百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は4,516百万円となり、前連結会計年度末に比べ380百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が345百万円、為替換算調整勘定が15百万円、退職給付に係る調整累計額が13百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は64.7%（前連結会計年度末は66.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月12日「平成28年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額ははありません。

### (4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,248,617	2,545,866
受取手形及び売掛金	1,850,959	2,080,909
商品	273,705	303,331
貯蔵品	13,586	16,863
その他	498,563	516,521
貸倒引当金	△1,842	△4,875
流動資産合計	4,883,590	5,458,616
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	305,033	291,085
有形固定資産合計	305,033	291,085
無形固定資産		
のれん	54,623	39,726
その他	15,030	55,771
無形固定資産合計	69,654	95,497
投資その他の資産		
その他	1,107,243	1,242,231
貸倒引当金	△314,539	△314,449
投資その他の資産合計	792,703	927,781
固定資産合計	1,167,391	1,314,365
資産合計	6,050,981	6,772,981

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	478,944	632,372
未払金	597,578	727,488
未払法人税等	124,576	51,065
賞与引当金	205,730	129,263
その他	366,776	524,467
流動負債合計	1,773,606	2,064,657
固定負債		
退職給付に係る負債	125,927	144,863
その他	15,512	47,371
固定負債合計	141,439	192,234
負債合計	1,915,046	2,256,892
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,323,272	2,323,272
利益剰余金	1,620,715	1,966,021
自己株式	△42,448	△42,448
株主資本合計	3,901,539	4,246,845
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△87	△67
為替換算調整勘定	124,216	140,170
退職給付に係る調整累計額	△18,332	△4,583
その他の包括利益累計額合計	105,796	135,519
非支配株主持分	128,599	133,724
純資産合計	4,135,935	4,516,089
負債純資産合計	6,050,981	6,772,981

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	13,703,210	13,755,218
売上原価	10,395,232	10,464,700
売上総利益	3,307,978	3,290,517
販売費及び一般管理費	2,680,124	2,628,561
営業利益	627,853	661,956
営業外収益		
受取利息	3,345	4,248
助成金収入	7,977	4,562
その他	2,389	4,547
営業外収益合計	13,712	13,357
営業外費用		
支払利息	97	621
貸倒引当金繰入額	△90	△90
雑損失	237	216
その他	3,997	270
営業外費用合計	4,242	1,019
経常利益	637,324	674,295
特別利益		
固定資産売却益	27	—
特別利益合計	27	—
特別損失		
固定資産売却損	—	16
固定資産除却損	4,930	303
本社移転費用	—	1,866
その他	6,094	421
特別損失合計	11,025	2,608
税金等調整前四半期純利益	626,326	671,687
法人税、住民税及び事業税	106,467	124,210
法人税等調整額	9,114	61,208
法人税等合計	115,582	185,418
四半期純利益	510,743	486,268
非支配株主に帰属する四半期純利益	8,340	755
親会社株主に帰属する四半期純利益	502,402	485,513

## (四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	510,743	486,268
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	11	19
為替換算調整勘定	344	20,323
退職給付に係る調整額	△5,464	13,749
その他の包括利益合計	△5,108	34,092
四半期包括利益	505,635	520,361
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	497,220	515,236
非支配株主に係る四半期包括利益	8,414	5,125

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	アスモ 事業	アスモレ ーディング 事業	アスモフ ードサービ ス事業	アスモ介 護サービ ス事業	ASMO CATERING (HK)事業	計
売上高						
外部顧客への売上高	3,825	2,235,710	5,521,814	3,600,353	1,819,133	13,180,837
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	50,218	65,480	—	—	115,699
計	3,825	2,285,929	5,587,294	3,600,353	1,819,133	13,296,536
セグメント利益又は損失(△)	△118,841	△13,795	294,947	417,284	41,128	620,721

(単位:千円)

	その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高				
外部顧客への売上高	522,373	13,703,210	—	13,703,210
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	115,699	△115,699	—
計	522,373	13,818,910	△115,699	13,703,210
セグメント利益又は損失(△)	7,564	628,286	△432	627,853

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	620,721
「その他」の区分の利益	7,564
セグメント間取引消去	△432
四半期連結損益計算書の営業利益	627,853

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					計
	アスモ事業	アスモトレーディング事業	アスモフードサービス事業	アスモ介護サービス事業	ASMO CATERING (HK) 事業	
売上高						
外部顧客への売上高	3,651	2,204,858	5,719,368	3,655,772	1,631,029	13,214,680
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	52,104	83,458	—	—	135,562
計	3,651	2,256,962	5,802,826	3,655,772	1,631,029	13,350,242
セグメント利益又は損失(△)	△125,564	61,899	340,499	379,832	4,783	661,451

(単位:千円)

	その他(注)	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
売上高				
外部顧客への売上高	540,537	13,755,218	—	13,755,218
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	135,562	△135,562	—
計	540,537	13,890,780	△135,562	13,755,218
セグメント利益又は損失(△)	164	661,616	340	661,956

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	661,451
「その他」の区分の利益	164
セグメント間取引消去	340
四半期連結損益計算書の営業利益	661,956

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。4. 報告セグメントの変更等に関する事項  
該当事項はありません。

なお、第2四半期連結会計期間から、当社の連結子会社である株式会社アスモフードサービスの給食事業を会社分割により、新たに設立した株式会社アスモフードサービス首都圏、株式会社アスモフードサービス東日本、株式会社アスモフードサービス中日本、株式会社アスモフードサービス西日本に事業の一部を承継させる新設分割をいたしました。これによる当第3四半期連結累計期間における報告セグメントに変更はありません。